

科目区分	専門分野			科目番号		曜日時間	
授業科目	臨床判断Ⅱ						
単位数	1 単位	時間	16 時間	開講時期	2年次後期	授業形態	講義・演習
担当教員	宮下 梨沙						
授業目的	健康上の問題を持つ対象への必要な援助を判断し、状況に応じた援助を実践できる方法を学ぶ。						
中核	対象の状況に応じた看護技術						
授業目標	1. 対象の状況より機能障害・病因を推論することができる。 2. 既習知識を看護の場面で活用できる。 3. 状況を把握し、介入方法を選択できる。 4. 対象の状況に合わせた看護を実践し、看護介入後の成果を認識できる。						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	備考		
	1	臨床推論とは	講義	2	※DVDや写真などの視覚教材を用いて練習をする		
	2	臨床推論（事例を用いたシミュレーション演習） 1) 予期（気づき）	演習	4			
	3	2) 推論する					
	4	臨床推論（事例を用いたシミュレーション演習） 1) 予期（気づき）	演習	4			
	5	2) 推論する					
	6	OSCE 患者の状況に応じた援助技術の実践	演習 (必修)	4			
	7	(知識・技術・態度の統合)					
8	OSCEの振り返り	講義	2				
評価計画方法	リフレクションノート及びレポート50%，OSCE（技術試験）50%						
テキスト参考図書	茂野香おる：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ第18版【電子版】，医学書院 茂野香おる著：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅱ第18版【電子版】，医学書院						
事前学習事後学習	解剖生理学・病態生理学・各援助論・基礎看護技術の学びを関連づける。						
実務歴有	看護師・保健師：病院勤務 14年 看護教員：学校勤務 2年						
講義への反映	臨床経験を活かし、看護の視点・推論方法を授業へ反映させる。						
備考	「気づき」「解釈」「反応」「省察」のプロセスを学びます。グループワーク（演習）をとおり、理解を深めていきますので積極的に参加しましょう。						